

日本プロ野球 構造改革ビジョン2018に向けて

日本プロ野球選手会



構造改革ビジョン2018(案)

1. 野球普及・育成環境の整備

～子供たちに野球を選んでもらうために～



2. 魅力あるプロ野球の制度の構築

～MLBよりも魅力的なNPBであるために～



3. 引退後支援の充実

～プロ野球選手をやってよかったと思えるように～



1. 野球普及・育成環境の整備

～子供たちに野球を選んでもらうために～

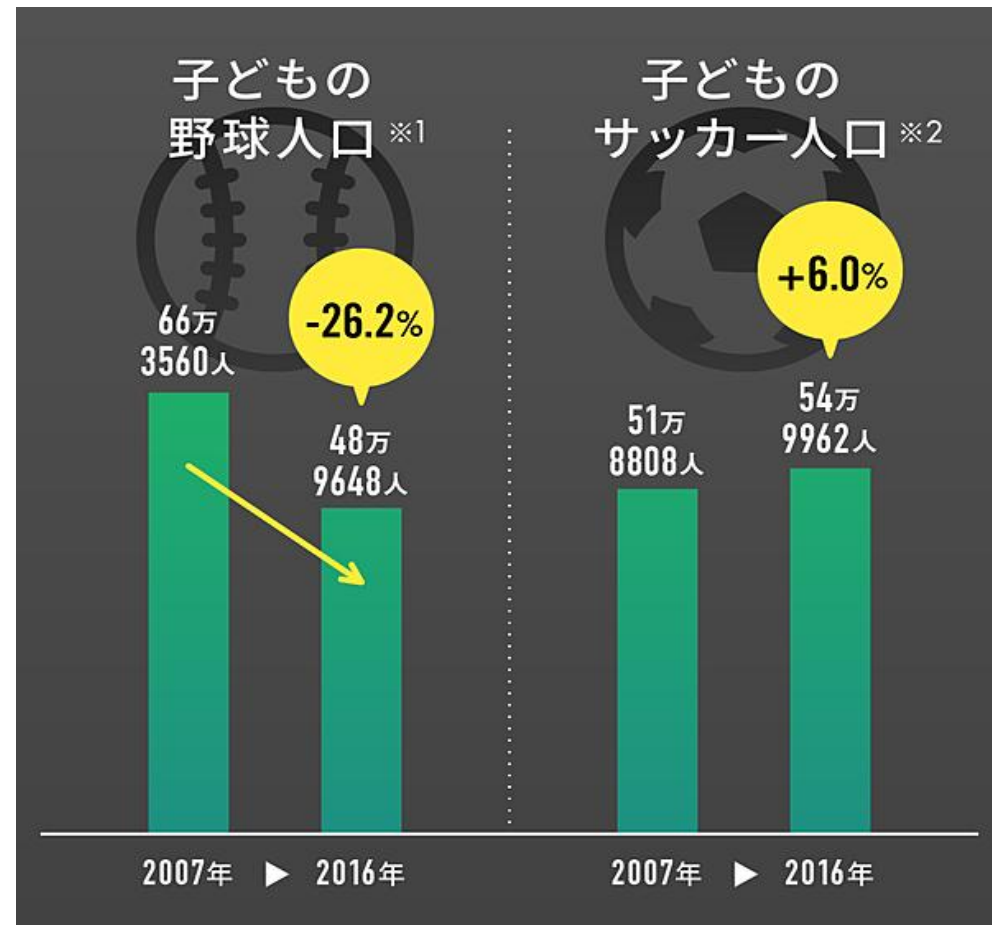
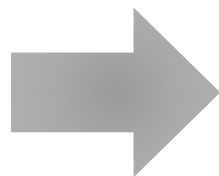
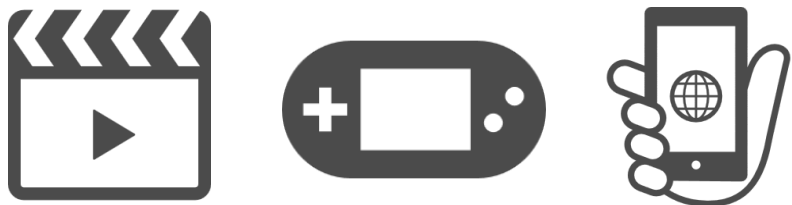
少子化



他のスポーツとの競争



エンタテインメントの多様化



※小中学生を合わせた数

(NewsPicks『野球少年激減。プロ野球ビジネスが成立しなくなる日』より引用)

1. 野球普及・育成環境の整備

～子供たちに野球を選んでもらうために～

① 適切な指導方法の普及



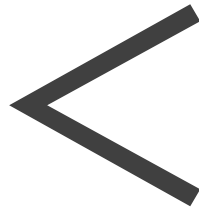
② 投球制限などの
育成ガイドラインの策定



若年選手の怪我防止

2. 魅力あるプロ野球の制度の構築

～MLBよりも魅力的なNPBであるために～



厳しい移籍制限

高卒8年、大卒・社会人7年、海外9年
人的補償、金銭補償あり

選手の人件費率 約20%

より流動性のある移籍制度

FA統一6年、補償金なし
ルール5ドラフト、マイナーFA

選手の人件費率 約50%

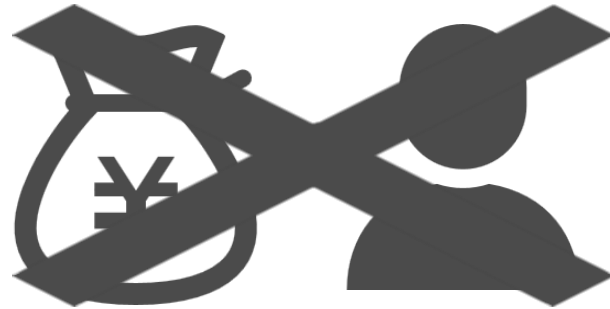
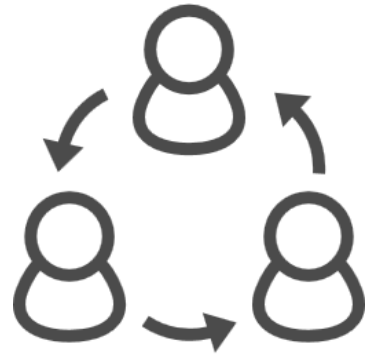
2. 魅力あるプロ野球の制度の構築

～MLBよりも魅力的なNPBであるために～

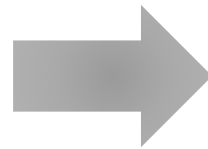
①現役ドラフトの導入

②補償制度の撤廃

③FA期間の短縮



協議機関の設置



新構造改革プラン



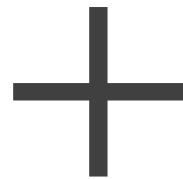
3. 引退後支援の充実

～プロ野球選手をやってよかったと思えるように～

退団金共済・年金奨励金



イーキャリア NEXT FIELD



現役中から行うプログラム

Player Development Program (PDP)



人生100年時代に対応する
新しいセカンドキャリア支援制度

より魅力的なプロ野球を目指して。

